



全力あげて積極的市政の推進へ

勝山市長 山内 継喜

市民のみならず
新年あけまして
あめでとうござい
ます。

月日の流れは全
く早いものでわが
勝山市が誕生して
からもう四回目の
正月を迎えました

過去三年有余をよりかえつてみます
と全く感慨無量のものがあります。

去る二十九年秋一町八ヶ村、四万市
民の大同団結により大勝山市が発足し
たもの、六千有余万円赤字を背負い
市の前途には幾多の難関が伏在してい



一層民意を市政に反映したい

勝山市議会議長 山岸 太之助

謹んで新年の
御挨拶を申し上げます。

勝山市に市制
が布かれて早く
も四年目を迎え
たのでありますが
今や市内の主要道
路や橋梁の改修、
学校施設の改善、
農業施策の確立、
その他衛生思想の普及等全市の発展と市
民各位の福利増進を目的としたるあら
ゆる施策は着々とその結につぎ、
勝山市建設の基礎も追々成就せんと
いたしているのでありますが、これ余
く



と同時、農業者の振
興にも意を用ひなければならぬので
ありまして、この両者が相共に繁栄し
てこそ勝山市の進展は期せられるので
あつて、従つてこれにかなう政治こそ
市政の根本とも云うべきものと信じ
ます。

わが勝山市議会は常にこの方針を行

ました。

わたくしは、初
代の市長として就
任するや先づこの
赤字をなんとかし
て償還し市民のみ
なさんの切ない要
望である勝山市の
総合的建設に邁進
したいと日夜腐心
してまいりました

幸にも一昨年財
政再建法の適用を
受け赤字財政も一
応解消することが
でき、ようやく昨年より積極的市政へ
と転換し今や着々と地道ながらも明る
い希望に燃えて力強く一歩一歩前進し
つゝありますことみなさんと共に喜
びにたえない次第であります。これを
具体的に申しあげるならば、

市政に対する御協
力の結果であつて
洵に感謝に堪えな
い次第であります
申すまでもなく
わが勝山市は商工
業者並びにこれに
従事する者と、そ
れに農業者と相半
ばしている、いわ
ゆる田園都市であ
ります故に、勝
山市の行政は、商
工業の発展を計る

市の重要産業の一つである農業にお
いては農家のみなさんの御努力により
史上空前の三年連続豊作に対し市とし
ても陰に陽に極力、協力或は指導を行
つてまいりました。すなわち、特産物
の育成、技術の改善、農林道の設置、
農山村の振興対策事業など枚挙にいと
まがありません。

商工業においても三千万円の資金融
資により設備近代化を推進し、或は金
詰りの打開策を講じ更には観光方面に
も力を入れ本市の特色を生かし冬の観
光地としてスキーヤーの誘致に乗り出
し今年年間にもその数なんと数万に達し
ウインタースポーツのウカつやま」と
して関西方面にデビューしたことは御
承知のとおりです。

建設事業では先づ市民のシンボルと
も称せられる市庁舎の建設を始め、特
に学校建設に力を入れ野向校、勝山中
学校体育館、北部中学、平泉寺中学、

政の基本とし、市民各位の公正なる意
志決定機関としてその任にあつてい
る次第であります。昨年中に於いて
市民各方面より議会に対して提出され
たる陳情及請願書は三十四通、また定
例議会及臨時議会を開くこと六回、そ
の回数十七日、これに伴う全員協議会
十一回、各種委員会の開催三十回に及
び、かくして勝山市発展に関する重要
議案審議並びに民意を市政に反映いた
すべくつとめて参つたのであります。

もより限りある財源に於いての行政
のことであり、又政治は飽くまで公平
を旨とすべきであるがために、いづれ
を先に行い、どれを後にするかは当然
起る問題であります。市将来の大計
のため或は多数市民の福祉増進の施策
と思われれるものなれば多少の経費と犠
牲をともなうとも、敢然としてこれを
行わねばならんと期してまいります。

たえば、市行政の本拠たる市庁舎
の新築、衛生施設の根本とも云うべき

小原分校などを新築または増築し、土
木関係では六千万円の巨費を投じた大
用水工事をほぼ完成させ、このほか道
路橋梁にも精々努力してまいりました
植林事業では、わたくしは特に本市
の特色にかんがみ、市の基本財源育成
に力を入れ市発足以来、百三十町歩の
ほう大な面積に植林し更には稚苗圃を
つくつて十万余本の良苗を育て、二十年
後の将来にはおよそ十数億伸長率計算
の巨額に達する見込で此の観点よりす
ればわが市の前途は実に洋々たるもの
であります。

わたくしは今後なほ残りの三百町歩
に更に植林を続け近い将来においては
国内における田園都市としては有数の
富裕市になれるのではないかと明るい夢
を描いています。

厚生行政でも一大機業地という特色
に対処して働く婦人の厚生施設として
県下初めて乳児保育所を建設し、庶民
を描いています。

水道及簡易水道の設置、学校設備改
善のための北部中学校の建設等がその
主なるものであります。市将来の進
展のためのこれ等の大事業の遂行と同
時に又吾々は常に市の各機関と相語り
市民各位の日常生活に少しでも便宜を
計る行政をなすし、各位の信望に報
いねばならないと努力している次第で
あります。

尚昨年末に全市の各種団体の代表者
及学術経験者等を以て委員とする勝山
市建設審議会を設置して各方面の意見
を聞くと共に、県及び国の指導と援助
によつて当市建設の完璧をはかること
にいたしましたのであります。その目的
とするところは産業的にも文化的にも
堅実なる勝山市をつくりたいと云う吾
等の熱意に依るものであります。

何卒今後あらゆる機関を通じて、十
分市民各位の御意見を聞かせて頂き、
併せてそれ等の実現に対して、御協力
と御指導を御懇願申し上げます。

金融の便をはかり公益質屋を設置し三
十一戸の公営住宅を建設するなど、こ
れまた力の及ぶ限り鋭意努力してまい
りました。

教育行政では先づ施設の改善及び充
実をはかり、学校教育水準の学校差を
なくし幼児教育の重要性を考え鹿谷、
北郷に幼稚園を設置し一方においては
全国的にも珍らしい奨学資金を設け学
資を奨励し優秀なる人材養成に留意し
てきました。

また消防行政においては先づ僻地部
落にみなさんの御協力を得て可搬式ボ
ンプを二十ヶ所配置すると共に水利の
不便な地域八ヶ所に防火貯水池を設置
しその施設、活動は県下随一と折紙付
で誠に結構なことでありました。

転じて市行政一般については本市
の特色ならびに事務能率向上の点から
考へて行政機構の刷新を行ひ人件費、
物件費などの消費的経費をできる限り
節減し昨年から真に市行政事務として
軌道に乗りつゝあることは今更特記す
るまでもありません。

これと関連して税務行政においても
これ又みなさんの深い御理解により納
税率は県下七市中一番の好成果を収め
これが運営にあつても事務の適正簡
素化をはかるため市金庫を設け一方課
税に關しては不均衡を是正し、しかも
固定資産税、市民税などは県下市町村
の最低線を固守し市民負担の適正およ
び軽減をはかつてきました。

このように三年余の市政を回顧して
みますれば本市は順調なテンポを以て
日進月歩、着々と伸展しつゝあります
わたくしは今後この過去を反省し現
在を直視し将来の見通しの適正を期し
力の限り愛する郷土の為に身を献んじ
て活躍致したいと念願してやみません
平素並々ならぬ市民のみなさんの御
協力に對し心から感謝の意を表しつゝ、
年頭にあつて今年こそそのはの市政
の決意を新たにし、また本年も四万市
民に栄光が輝やかんことをお祈りしな
がら御挨拶いたします。

